



「環境白書」の刊行にあたって

三重県知事

北川 正 恭

21世紀は「環境の世紀」といわれています。

現在、私たちの毎日の活動は、自らの生命を脅かすほど深刻な影響を与えています。私たちは、このような状況から一日も早く抜け出さなくてはなりません。

20世紀には、「環境」と「経済」は対立するもので、環境に配慮していたのでは商売は成り立たないと考えられてきました。しかし、21世紀には、環境に配慮したほうが経済的にも有利になるような「環境経営」を進めていく必要があり、この理念に立って三重県の環境政策を推進していきます。

この理念は、三重県に住むすべてのみなさんに共有していただき、三重県で活動するすべてのみなさんが連携し、環境に優しい取組を一緒になって行っていく必要があります。

資源やエネルギーには限りがあります。資源やエネルギーを上手に使うには、最初からより少ない量で、繰り返し使うことが大切です。上手に使うことで、地球環境への負荷を少なくすることができます。企業の活動も、私たちの生活も、このような資源循環型へと変えなければなりません。

そのためには、私たち自身も、地球にやさしい製品を買ったり、ものを大事にして長く使ったり、また、捨てるときもきちんと分別するなど、ライフスタイルを変えていくことが求められています。

環境にやさしい取組を自分から進めていくためには、勇気が必要です。小さなことでも、こつこつと続けていくには強い意志がいります。しかし、目的や方向が正しければ、その取組はいつかはきっと実を結ぶものだと思っています。

三重県は、住んでいる人はもちろん、訪れるすべての皆さんから「環境にやさしい県」であると言ってもらえるような「環境先進県づくり」に取り組んでいきます。

県民、企業、市町村のみなさんも、私たちと一緒に、次世代に誇ることができる「環境先進県 三重県」づくりに取り組んでいただきたいと思います。

この白書は、平成12(2000)年度の三重県の環境の状況と、環境先進県づくりの取組を中心にとりまとめました。この本を読んでいただき、今日の環境問題に対する理解を一層深めていただければ幸いです。